

東京大会・関東大会参加への各協会・連盟のコラボチーム構成をする件について

【東京都ビーチボール協会 提案】

2022年7月14日

東京都ビーチボール協会

会長 中屋 文孝

理事長 塚本 雅一

日頃より協会活動にご協力をいただきありがとうございます。

現在もコロナの収束が見えない現状ではございますが、各協会・連盟ではWithコロナに向かい、感染防止対策徹底等を行い 各地区では大会が盛んに開催されて居ます事に 心から御礼申し上げます。

さて、この2年半に及ぶコロナ禍で 東京都ビーチボール協会を取り巻く問題は 様々出てきており 早急に改善して行かなければなりません。特にこの間の 体育館使用制限による チーム数の減少・高齢化等が顕著に出ており 先ずは普及活動を最優先で行なってゆく必要があります。

そこで

現状、都大会・関東大会への各協会・連盟のコラボチームの参加は認めておりませんが

次回のみ限定で 東京都・関東ビーチボール協会の パイロット事業として

コラボチームの参加を認め実施して参ります。

但しコラボすることにより個人・チーム・団体でのトラブルの原因となる可能性もあるので、下記の条件を守る事が参加条件となります。

- ① 今回の特例措置はあくまでも登録チーム数の少ない協会・連盟に限っての措置です。
 - ・2022年東京大会・関東大会に限っての特例措置です。今回の大会以降は経過を見て東京都協会で判断致します。
- ② 文章の提出
 - ・対象の協会・連盟チームは東京都ビーチボール協会事務局長に「メンバー移動申請書」を提出する、東京都協会では会長・理事長・事務局長で検討し対象協会連盟に結果を提示する・申請期間 **【後日提示】**
- ③ コラボを検討しているチーム・団体の関係者で話し合う（代表者は文章化する）
 - ・コラボの目的を明確にする。
 - ・コラボをした事による弊害がないかを確認する。
- ④ 各協会・連盟は下記の努力をして下さい。
 - ・登録メンバーを増やす試み、催し等を実践する。
 - ・足りないカテゴリーに対し年齢が上のカテゴリーから移動してチーム編成する。
 - ・休部中のメンバーの掘り起こし。

以上